

日付	2015/4/25(土)	2015/4/26(日)	2015/4/27(月)	2015/4/28(火)	2015/4/29(水)
引用元	UNORC	UNORC	UNORC	UNORC	UNORC
災害の種類	地震 M7.8(震源の深さ15km)				
被災地域	ネパール共和国 ラムジュン群				
被害状況					
死者数	700~1000	1900人以上→2288人	3351人	4358人	5006人 Kathmandu1039人 Bhaktapur250人 Lalitpur159人
負傷者数	データなし	5000人以上→5850人	6833人	8174人	10196人
行方不明者数	データなし	データなし	データなし	14人を瓦礫から救出した。	データなし
被災者数 避難者数	首都カトマンズを含む WesternおよびCentral region の75中30以上の地域が被災	多くの人が野宿で夜を過ごした	39地域800万人が被災し、そのうち11の甚大な被害のあった地域に2万人が住んでいる。	被災者数810万人(予測) 男性4万人、女性4.1万人 5歳以下の男児39000人 5歳以下の女児36000人 65歳以上の男性22000人 65歳以上の女性22500人 家屋倒壊被害280万人(予測) 男性130万人、女性150万人 5歳以下の男児12000人 5歳以下の女児12000人 65歳以上の男性92000人 65歳以上の女性96000人	カトマンズValleyの避難者数 75000人(推定)
避難所数	データなし	データなし	16か所	16か所	データなし
家屋被害	特に歴史的建造物を含む建物の崩壊が目立つ。	データなし	データなし	640000戸	3673戸が破壊、7700戸が甚大な被害。初期予測では39地域で530000戸が被害を受けたとされ、今後増加の見込み。
交通アクセス状況	カトマンズとポカラの空港はオープンしているが、離着陸が混雑している。 カトマンズ郊外の道路状況は不明。	カトマンズ郊外の輸送用道路は全体的にアクセス可能。側道の崩壊によりアクセスが制限されている。	被災地への主要な入口の混雑を避けるために、HSAをカトマンズ空港に設置。 到着していないUSARチームとFMTはスタンバイするよう通達(OSOCC)	カトマンズ国際空港は23時間主要Logistics hubPokharaとして開通しているが、物資や支援チームなどで空港は混雑している。PokharaとBirgunj空港の2カ所にLogistics hubを設置。	SARはいまだカトマンズ外で不足している。数か所の村は歩いて4~5日かけて到達時可能である。SARチーム輸送の燃料が不足している。被災者をKathmanduから東方のItahariや西方のButwalに移すため、地域の学校や組織はバスの運行を始めた。
治安/環境	病院は混雑し、遺体で部屋は埋まり、緊急医療資機材は不足している。BIR病院は道路で負傷者を治療している。		気象庁は今後10日間降雨を予測している。	小規模の食糧雑貨店は開店。大規模の事業所や銀行はまだ閉まったままである。ATMは機能している。	予備情報として、特にヒマラヤ地方と北部ネパールと丘陵地域にある地震の被災地域に地すべりのリスクがある。気象庁が予測している降雨により、これらの地域での地滑りのリスクが増加するだろう。
ライフライン					
水・食糧	備蓄に関して政府は明らかにしていない。	情報なし	140万人が食糧支援を必要としている。	12地区に優先して食糧支援が必要。事前のアセスメントによると、1か月約2万トンの食糧が12の被災地域の被災者を支援するためには必要。	350万人が食糧支援を必要としている。
電気	情報なし	情報なし	市内の電気は不足していて、多くの家屋と役所は発電機に頼っている。	情報なし	情報なし
ガス	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし
通信・ネットワーク	情報なし	情報なし	カトマンズの携帯ネットワークは機能を維持している。同時にネットワークは供給停止と過負荷はまだよく起きている。	ラジオが基本的なライフラインでラジオ局が運営されている。メッセージを短波で頻りに送っている。国全体への放送を短波を使っているため、地域への情報が限定されている。	通信構造にダメージを受けていて、救援活動に支障が続いている。